



SHONAN

しょうなん

MAIL

メール

Contents

2 - 3 P 医療の話

・乳腺外科

4 - 5 P 感染予防対策チームより

・あつ〜い夏！
食中毒にご注意を！

6 - 7 P トピックス

- ・輸血機能評価（I&A:点検/評価）を受審して
- ・ロジュマン祭りに参加！
- ・依頼講演「いきいき講座」開催！

8 P 病院案内

理念

「生命を安心して預けられる病院」
「健康と生活を守る病院」



病院屋上から大船駅方面を望む

乳腺外科

乳腺外科部長 田中 久美子



現在の乳腺外科スタッフ：女性のみで対応しています

乳腺外科は乳がんを主体として乳腺疾患一般を診療する外科系の部門ですが、乳がんには手術以外にもいろいろな治療があり、抗がん剤治療も当科で行っています。

当院の乳腺外科は2013年2月から開設され、4年目を迎えることができました。この間に治療する症例数や出向先の病院も増加。それに伴いスタッフも増え、診療体制も充実してきました。

現在、日本人女性の12人に1人が生涯のうちに乳がんにかかる可能性があるといわれ、年間約9万人が罹患しています。好発年齢は45才～65才くらいです。

日本人女性に増え続けている乳がんは、患者数の増加が予想されます。これからも地域の皆様から信頼される乳腺外科を目指していきたいと考えております。

検診と結果の解釈

お住まいの各自治体の検診は、基本的には隔年のマンモグラフィ（以下、MG）で行われています。高濃度乳腺の方や30代の方などには、MGより超音波による検診のほうが適していることもあります。それぞれの検査に長所と短所があり、一概にどちらの検査がより有効ということはいえません。

当科は精査機関であり、一次検診は行っておりません。症状があつて受診された方や、検診で要精査となった方の検査結果を評価して、今後の方針を決定する役割を担っています。

良性の可能性が高いが、検診では精査となる場合は、継続的に受診すれば比較が可能という理由から、当院の健康管理センターでの検診をお勧めしています。

マンモグラフィ



日々進歩する 乳がんの画像診断や病理診断

外来には、MG読影の高精細モニタや小型ながら性能の良い超音波装置を備えており、精査が必要な場合には当科スタッフが超音波ガイド下の針生検などを行っています。今後は超音波ガイド下の吸引式針生検なども導入予定です。

また、検診部門や超音波検査部門、病理診断部などと合同のカンファレンスなども定期的に開催し、チームの診断能力を研鑽しています。



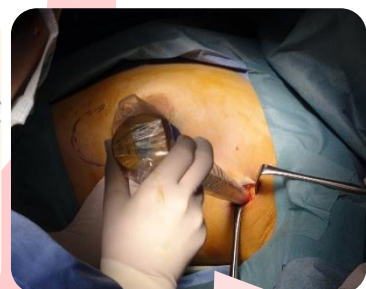
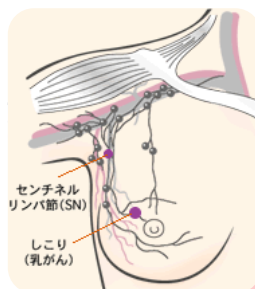
部分切除後の放射線治療や 全摘に際しての再建手術も当院で可能です

乳腺外科による手術のほか、放射線治療や乳房再建も担当科の専門医とそれぞれ連携を取って行っています。
乳房再建はインプラント挿入のほか、脂肪幹細胞による再建も可能です。
抗がん剤治療（外来化学療法）はオンコロジーセンターと協力し、外来通院にて行います。

乳がん特有の検査を行っています

- えきか 腋窩リンパ節転移（乳房周囲のリンパ節のひとつ）の有無を手術時に判定するセンチネルリンパ節生検（RI＋色素併用法）
- 特定の遺伝子変異により遺伝性に乳がんや卵巣がんが家系内に多くみられるHBOC（遺伝性乳がん・卵巣がん症候群）のカウンセリングや遺伝子検査※1

※1：院外の検査機関へ依頼



センチネルリンパ節生検

センチネル（見張り）リンパ節
＝がん細胞が最初に転移を起こすであろうリンパ節のこと。

手術中の検査でこのセンチネルリンパ節に転移がなければ、腋窩リンパ節は取らない。

心強い、総合病院での親切ながん診療

当院は総合病院で、救急医療の体制も整っています。いろいろな病気で当院を受診されている方が乳がんになった場合、それら診療科と連携し、基礎疾患の状況に配慮した診療が可能です。これはがん専門病院ではなかなか得難い体制です。日頃から受診されている病院で、がん診療も安心して任せられたら、地域の方にとっては心強いのではないのでしょうか。我々はそれを目指して湘南鎌倉総合病院のほか、湘南藤沢徳洲会病院や湘南厚木病院などにも出向して診療を行っています。

私たちが目指しているのは「適切でQOL※2を考慮した親切な乳がん診療」です。

スタッフは専門性を持ってチーム医療を行える女性医師です。

専任の看護師とクラークもあり、きめ細やかでリスクの少ない診療が行えるよう心がけています。

※2：QOL：quality of life ひとりひとりの人生の質や、社会的な生活の質のこと

ピンクリボン：乳がんの早期発見と、乳がん検診の必要性を啓蒙するキャンペーンのシンボル

乳腺外科受診の際は、ご予約をお取り
いただくようお願い致します。

月曜日・火曜日・水曜日・金曜日

●午前 7：30～11：00まで

●午後 12：30～15：00まで

（午後は火曜日・水曜日のみ）

予定が変更となる場合がございますので、ホームページなどで「外来診療のご案内」（受診の予定表）をご確認ください。



2016年4月 3周年記念パーティーにいろいろな職種の方が
集まってくれました！

あつ〜い
夏！

食中毒

にご注意を！

食中毒の原因はなに？

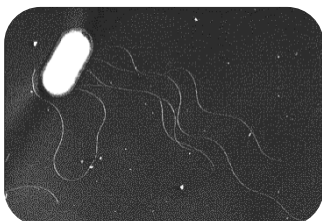
感染防止対策室 感染管理認定看護師 平新 加代子

食中毒を引き起こす主な原因は、「**細菌**」と「**ウイルス**」です。細菌もウイルスも目には見えない小さなものです。

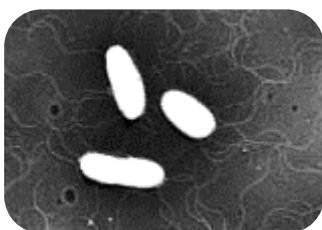
細菌は温度や湿度などの条件がそろって**食べ物の中で増殖**し、その食べ物を食べるにより食中毒を引き起こします。

細菌

細菌による食中毒が多くなる時期



腸管出血性大腸菌O157 : H7 の電子顕微鏡写真
出典：国立感染症研究所ホームページ
(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/439-ehc-intro.html>)



サルモネラ属菌の電子顕微鏡写真
出典：国立感染症研究所ホームページ
(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/409-salmonella.html>)



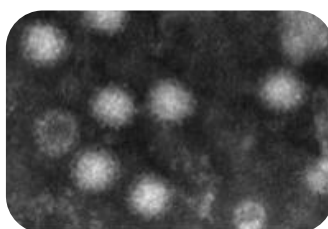
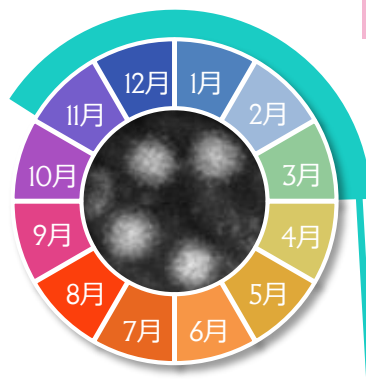
カンピロバクターの電子顕微鏡像
出典：国立感染症研究所ホームページ
(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/385-campylobacter-intro.html>)

細菌が原因となる食中毒は夏場（6月～8月）に多く発生しています。その原因となる細菌の代表的なものは、**腸管出血性大腸菌**（O157・O111など）や**カンピロバクター**、**サルモネラ属菌**などです。食中毒を引き起こす細菌の多くは、室温（約20℃）で活発に増殖し始め、人間や動物の体温ぐらいの温度で増殖のスピードが最も速くなります。例えば、O157やO111などの場合は、**7～8℃**ぐらいから増殖し始め、**35～40℃**で最も増殖が活発になります。また、細菌の多くは湿気を好むため、気温が高くなり始め、湿度も高くなる梅雨時には、細菌による食中毒が増えます。

一方、ウイルスは低温や乾燥した環境の中で長く生存します。ウイルスは、細菌のように食べ物の中では増殖しませんが、食べ物を通じて**体内に入ると、人の腸管内で増殖**し、食中毒を引き起こします。

ウイルス

ウイルスによる食中毒が多くなる時期



ノロウイルス電顕写真
出典：感染症情報センターホームページ
(http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/003_center/0306_topics/files/topics041108.htm)

ウイルスが原因となる食中毒は冬場（11月～3月）に多く発生しています。食中毒の原因となる代表的なウイルスである**ノロウイルス**は、調理者から食品を介して感染する 경우가多く、ほかに二枚貝に潜んでいることもあります。ノロウイルスによる食中毒は、大規模化することが多く、年間の食中毒患者数の5割以上を占めています。



食中毒予防の3つの原則

家庭での食中毒の発生を防ぐために、次の3つのことを心がけましょう。

1 食中毒菌をつけない (清潔)

- ・食品、手、調理器具をしっかりと洗う
- ・食品の保存はふたやラップで覆う
- ・きちんと手を洗ってから調理する

2 食中毒菌を増やさない (迅速・冷却)

- ・冷蔵が必要な食品は、すぐ冷蔵庫に入れる
- ・できた料理は時間をおかず食べる

3 食中毒菌をやっつける (加熱)

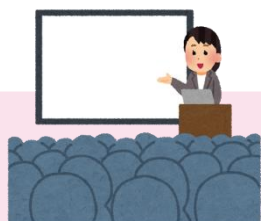
- ・食品を十分に加熱して食べる
- ・調理器具を定期的に消毒する

この3つを守れば、食中毒を防ぐことができますが、もし、食後しばらくしたあとでお腹が痛くなったり、下痢をしたり気持ちが悪くなったりしたら、かかりつけのお医者さんに相談してください。

また、鶏肉などの肉類を原因とする食中毒は、バーベキューなど野外活動を行うこれからの行楽シーズンに多く発生しています。

腸管出血性大腸菌などは、感染力が強く、**抵抗力の弱い乳幼児や子ども、高齢者は重症化することがある**ため特に注意が必要です。

お肉には元々これらの食中毒菌がついている場合がありますので**生食を避けるとともに中心部まで十分に加熱して食べる**ようにしましょう。また、焼肉やバーベキューで**生のお肉を焼き台にのせる場合には専用の tong や箸**を使いましょう。



食中毒にまつわる内容を詳細にお聞きになりたい方は、公開医学講座にて講演しております。
ご興味のある方は、ぜひご参加ください。

食中毒を防ぐ6つのポイント

point 1

食品の購入



point 2

家庭での保存



point 3

下準備



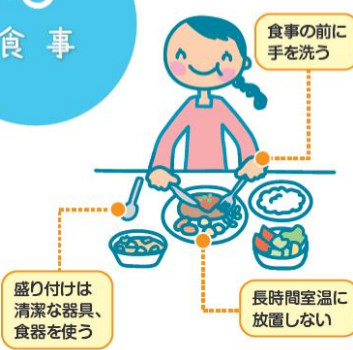
point 4

調理



point 5

食事



point 6

残った食品



院内

輸血機能評価

(I&A：点検/評価) を受審して

検査部 榎 恭佑



「輸血機能評価：I&A」とは

I&Aは院内の輸血療法の管理・運用が適切に実施されているかを、輸血・細胞治療学会が主導となり第三者の立場から**inspection(点検)**し**accreditation(認証)**を行い輸血療法の安全を保証する制度です。

現在、認定施設が全国で85施設あり、2016年7月12日（火）に当院は神奈川県と徳洲会グループ病院の中でも1施設目の輸血機能評価受審となりました。

輸血機能評価の評価項目は78に及び、輸血分野の専門家が評価を行います。当院は、神奈川県でも輸血使用量が上位5施設に入る程の血液製剤使用実績があり、輸血管理は重要課題です。



審査の様子



病棟



手術室



オンコロジーセンター



救命救急センター

受審当日

受審当日は5名の視察員が来院され、午前中に輸血マニュアル・輸血療法委員会議事録、その他多くの書類調査と輸血部門の視察があり、午後は病棟・手術室・ICU・オンコロジーセンター・救命救急センターでの輸血手順の確認と、血液製剤を保管している部署の管理状況の確認、輸血患者の診療録の確認、その他輸血療法に関わる手技に関する確認などを行いました。

視察員からは輸血療法に真摯に取り組んでいる姿勢があり「輸血安全管理意識が非常に高い」「全部署で教育が行き届いて徹底している」と高い評価を頂きました。これは日頃からスタッフがきめ細かく意識して輸血に従事している結果でもあると思います。

指摘事項に関しては細かな作業（保冷庫のアラームチェック）の未実施やマニュアルの改善、機材整備等の改善が求められました。この結果を真摯に受け止め、今後関連部署と協力して改善していきます。

視察を無事に終え、当院の安全な輸血体制を再確認することができました。今回の結果に満足することなく、今後も輸血療法体制を継続して改善し、より安全・安心な輸血医療を提供したいと考えています。



講評の様子

地域

地域イベント

ロジュマン祭りに参加！

7月23日（土）地域の「鎌倉ロジュマン自治会」主催によるお祭り、第33回ロジュマン祭りが行われました。

お祭りでは子供神輿の他にも、玉縄中学校生徒による吹奏楽やハンドベル、箏曲などの演奏や、その他外部団体による演技など、多数のイベントが大変にぎやかに執り行われました。

当院も地域の方への日頃の感謝を込めて、みそピーナッツや黒糖豆、黒糖などを販売。「奄美の物産展」として出店しました。また救護所として当院の看護師が対応。隣では特別養護老人ホーム「かまくら愛の郷」の出店であつあつのコロッケを販売し、両店舗とも午前中にはほぼ売り切れとなる盛況ぶりで皆様よりご好評をいただきました。



▲「奄美の物産展」と「救護所」



▲上から「みそピーナッツ」「黒糖豆」「黒糖」

▲愛の郷のあつあつ「コロッケ店」（右）と湘南鎌倉総合病院「奄美の物産展」（左）

▲子供神輿や吹奏楽の演奏も



地域



8月13日（土）近隣マンション鎌倉ロジュマン自治会館におきまして、当院の塩野正喜院長が医療講演を行いました。

演題は「高齢者の健康について」で参加者は60名以上。会場はあたたかい雰囲気です。笑いも絶えず、地域との繋がりを大切にしている当院としては、さらなる地域交流を深めることができました。

「高齢者が元気であるためには、人と人とのコミュニケーションがとても大切であり、このような会に集まり人と話すことはとても重要である」と塩野院長。また、愛のある生活を送ることも健康寿命を延ばすには大切であると話しました。

湘南鎌倉総合病院では出張講演も随時受け付けております。今後も地域社会へ貢献できる病院を目指し頑張っていくと思っています。

▲講演会場の様子

いきいき講座 開催！



医療法人
沖縄徳洲会

湘南鎌倉総合病院

〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本1370-1

代表：Tel 0467-46-1717(代表) Fax：0467-45-0190

(直通) 健康管理センター：0467-44-1454 人工膝関節センター：0467-46-7172

しょうなんメール編集・発行：湘南鎌倉総合病院 年報広報誌委員会

ホームページアドレス：http://www.shonankamakura.or.jp



ご来院される方にシャトルバスの運行も行っております。詳しくは院内で配布のシャトルバス時刻表が、ホームページをご覧ください。また、「しょうなんメール」のバックナンバーもホームページでご覧いただけます。

Access Map



公共交通機関でお越しの方へ

大船駅より来院される方

●大船駅西口（大船観音側）

1番乗場 神・船31 渡内経由 「慈光寺」行
 船32 渡内経由 「藤沢駅北口」行
 神・船101 城廻中村経由 「大船駅西口」行
 船102 公会堂前経由 「城廻中村」行

2番乗場 神・船34 公園前経由 「南岡本」行

●大船駅東口交通広場ターミナル

（湘南モノレール駅下バスターミナル）

2番乗場 江・藤沢[弥]大船
 四季の杜・武田薬品前経由 「藤沢駅（北口）」行
 江・南岡本経由 「四季の杜」行

藤沢駅より来院される方

●藤沢駅北口（さいか屋・ビックカメラ側）

4番乗場 神・船32 渡内経由 「大船駅西口」行

9番乗場 江・藤沢[弥]大船 武田薬品前経由 「大船駅」行

●藤沢駅南口（小田急デパート側）

8番乗場 江・5301 アズビル前・武田薬品前経由 「湘南鎌倉総合病院」行

湘南鎌倉総合病院

検索



湘南鎌倉
総合病院
ホームページ



駐車場利用 について

湘南鎌倉総合病院駐車場

外来患者

一般・面会

料金体系

最初 2時間 200円
以降 1時間 100円

1時間 200円

※外来患者さんは診察券が無いと一般料金となります

地上

地下

営業時間

0:00～24:00

7:00～21:00

台数

28台

179台

コーナン鎌倉モール

1時間 200円 当日最大1000円 お買い上げで180分無料

関連施設

●葉山ハートセンター

神奈川県三浦郡葉山町
下山口1898-1
TEL 046-875-1717

●湘南厚木病院

神奈川県厚木市温水118-1
TEL 046-223-3636

●湘南鎌倉人工関節センター

神奈川県鎌倉市台5-4-17
TEL 0467-47-2377

●湘南葉山デイクアクリニック

神奈川県三浦郡葉山町
一色1746-2
TEL 046-876-3811

●湘南かまくらクリニック

神奈川県鎌倉市山崎1202-1
TEL 0467-43-1717

●大和青洲病院

神奈川県大和市
中央林間4-25-17
TEL 046-272-9300

●湘南鎌倉バースクリニック

神奈川県鎌倉市山崎1090-5
TEL 0467-45-4103

●介護老人保健施設 ゆめが丘

神奈川県横浜市泉区
和泉町1202
TEL 045-800-1717

●介護老人保健施設 かまくら

神奈川県鎌倉市上町屋750
TEL 0467-42-1717

●介護老人保健施設

リハビリケア湘南かまくら
神奈川県鎌倉市山崎1202-1
TEL 0467-41-1616

●介護老人保健施設

リハビリケア湘南厚木
神奈川県厚木市戸田2446-15
TEL 046-230-5111

●特別養護老人ホーム

かまくら愛の郷
神奈川県鎌倉市岡本1022-32
TEL 0467-41-1122

●特別養護老人ホーム

逗子杜の郷
神奈川県逗子市沼間1-23-1
TEL 046-870-6800